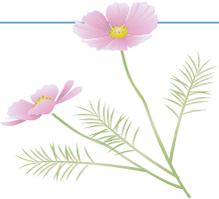


りゅうぎんの最近のトピックス

中小企業向け融資、支援 個人向け融資	預金・預かり資産 (投資信託・国債・保険)	平成16年	サービス キャンペーン	情報開示 社会貢献
「企業支援部」を新設	「株主優待定期預金」を発売(6面記事参照) 当行初の天候デリバティブ取引契約締結	6月	インターネットバンキングの機能拡張(4面記事参照)	「まかせて新聞」(6月号)発行 県内6地区で「経営説明会」を開催
第1回「ビジネスローン夜間相談会」を開催(2面記事参照) 「銀行保証付無担保私募債」の引受け(沖縄日通エアカーゴサービス、株式会社りゅうせき) 会員向けセミナー「資金調達に欠かせない経営計画」開催(りゅうぎんビジネスクラブ)	県内地銀初「J-REIT(不動産投信)」を発売 	7月	宮古支店、八重山支店のATM稼働時間延長	第7回「源河朝明記念那覇市社会福祉基金」助成先募集開始 ディスクロージャー誌「琉球銀行の現状」を発行
「りゅうぎんL O V Eサンゴ定期預金」を発売(6面記事参照) 「りゅうぎん三ツ星プラン」取扱期間延長(7面記事参照)	「決済用預金」の導入決定 	8月	「ローソンATM」サービス開始(ローソン10カ店で稼働)(1面記事参照) 法人向けインターネットバンキング「りゅうぎんBizネット」取扱開始(4面記事参照) 	ホームページ上で「経営説明会」を動画配信 第2回「りゅうぎん子どもお金の教室」開催(11面記事参照) 平成17年3月期 第1四半期財務・業績の概況を公表 県内大学インターシップ生による「窓口対応ロールプレイング大会」を開催(11面記事参照) 米州開発銀行(IDB)年次総会に寄付 第13回「りゅうぎん紅型公募展」受賞作品決定(11面記事参照)
第18回東京ビジネスサミットへりゅうぎんビジネスクラブから30社出展(2面記事参照)	「りゅうぎんL O V Eサンゴ定期預金」を発売(6面記事参照) 「りゅうぎん三ツ星プラン」取扱期間延長(7面記事参照)	9月	カード犯罪防止キャッシュカード暗証番号変更サービス開始(7面記事参照)	「いきいきふれあい財団」へ募金贈呈
ビジネスマッチング業務を開始(2面記事参照) 第2回「融資夜間相談会」を開催(2面記事参照)	プロ野球応援定期預金「Vキャンプ」プレミアム確定(6面記事参照)	10月	ATMの新設(マックスバリュ豊見城店)	平成16年9月中間期決算上方修正を公表 「新潟県中越地震」被災者支援の救援金贈呈(10面記事参照)
	県内初!最高100万円が当たる懸賞金付定期預金「ミリオネア」を発売(6面記事参照)	11月		第7回公益信託「源河朝明記念那覇市社会福祉基金」を13団体に助成(10面記事参照) 「リレーションシップバンキングの機能強化計画の進捗状況」を公表(12面記事参照)
		12月		県内7地区で「経営説明会」開催予定

リレーションシップバンキングの機能強化計画の進捗状況

「リレーションシップバンキングの機能強化計画」の二〇〇三年四月から二〇〇四年九月までの実施状況をご報告します。

全体的な進捗状況およびそれに対する評価

「リレーションシップバンキングの機能強化計画」の柱の一つである「中小企業金融の再生に向けた取り組み」については、ほぼ計画通り進捗しており、当行が重点施策として掲げた資金供給の円滑化に関連する項目および企業経営体力の向上、事業再生の支援に関する項目では、具体的な成果が上がっています。また、二つ目の柱である「健全性確保・収益性向上に向けた取り組み」についても着実に取り組んでおり、概ね計画通りの進捗と評価しています。

「担保・保証へ過度に依存しない融資の促進」について

自動審査(スコアリングモデル)や外部保証会社を活用した無担保・第三者保証人不要の融資商品開発に注力しました。二〇〇三年度以降の商品開発状況は、二〇〇三年七月に「順風満帆」(自動審査、沖縄県信用保証協会提携)、二〇〇三年九月に小口の個人事業主等を対象とする「即決」(繁盛ローン)(外部保証会社提携)、二〇〇三年十一月に創業間もない企業および新規事業の展開を目指す企業等を支援する「ベストサポーター」(自動審査)、二〇〇四年三月に融資上限額を五百万円に引き上げた「即決」(繁盛ローン500)(外部保証会社提携)を発売しました。

これら自動審査や外部保証会社を活用した無担保・第三者保証人不要の商品(二〇〇三年三月以前発売の商品含む)の二〇〇三年四月から二〇〇四年九月までの融資取扱実績は、千二百四十七件、百六億円となり、二〇〇四年九月末の融資残高は五十六億円と二〇〇三年三月末の二十二億円から大幅に増加しました。「要注意先債権等の健全債権化および不良債権の新規発生防止」について

二〇〇三年四月に大口取引企業の事業再生を目的とする経営サポート室を設置し、二〇〇三年十月に中小の取引先の経営改善に営業店と一体になって取り組む経営改善支援チームを設置しました。二〇〇四年六月には企業の再生支援強化の観点から、経営改善支援チームを企業支援部に組織再編し、経営改善支援チームの業務を引き継ぐ経営改善支援室を中心に、経済・産業調査研究に取り組む経済調査室、ビジネスマッチングや経営情報を提供するりゅうぎんビジネスクラブ事務局の機能を統合しました。

企業支援部では、営業店と一体となって企業の財務改善を促しており、二〇〇三年四月から二〇〇四年九月までの活動成果は、四百九十五先の財務改善支援対象先に対し百二十二先の債務者区分実績となりました。

その他の個別項目についても、概ね計画通りの進捗となっています。

課題および課題に対する方針等

二〇〇四年九月末の金融再生法開示債権比率は、取引先企業の財務改善による債務者区分の良化などから8.68%となり、二〇〇三年九月末比マイナスイテ、85ポイントの大幅な改善となりました。

二〇〇四年度下期は、「企業支援部」の活動を強化するとともに、中小企業に対する資金供給の円滑化にもさらに注力し、中小企業金融の再生、地域経済の活性化、ひいては当行の収益性の向上と健全性の確保に努めてまいります。